

あなたのまちの

高齢者の総合相談窓口



地域包括だより

井口台
地区版

令和7年度【第24号】広島市井口台・井口地域包括支援センター



住民同士の繋がいの輪を広げていくため 「地域とつながる交流会」を開催しました

参加者
29名



令和7年11月29日(土) 開催

「あんしんネット」の登録者・見守りサポーターの交流を深めるために開催している交流会。地域住民を対象にし、幅広く見守り支え合いの輪を広げます。

今年は皆で輪になり、
スリーA認知症予防ゲームを
楽しみました。

- A あかるく
- A あたまを使って
- A あきらめない

がテーマのゲームです♪

(講師：小谷 朱美さん)

今回の交流会では、偶然隣に座った登録者・サポーターがそのまま見守りのペアとなる、素敵な出会いもありました！

あなたも参加してみませんか？

井口台地区あんしんネットとは？

住民同士のお互い様の見守り活動です

見守り登録者
何かあった時に不安
見守ってほしい



見守りサポーター
見守りを通して近所の方、
地域のために協力したい

月1回程度の緩やかな見守りを行っています

	登録者	サポーター
1丁目	3名	2名
2丁目	5名	8名
3丁目	12名	7名
4丁目	1名	1名
合計	21名	20名

※R7.9月時点

消費者被害にあわないために～誰かの気づきが被害を防ぎます～

最近多いのが警察官や役所職員を名乗る電話です。「あなたの口座が犯罪に使われている」「逮捕状が出ている」こんな言葉には要注意！！

そして未だに多いのが「オレオレ詐欺（必ずしも家族を名乗るものだけではない）」等です。日々、手口も巧妙化して皆様を狙っています。



広島市によると、2025年12月末時点で「特殊詐欺被害」の発生件数・被害額は前年より大幅に増加しています。不審な状況あればひとりで悩まず周囲の人に相談しましょう。



地域包括支援センターにも
お気軽にご相談ください。

裏面もあります

2040年には613万人が認知症になると試算されており、すでに私たちは「認知症がごく当たり前の社会」に生きています。

そこで生まれたのが「新しい認知症観」

認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方。



多様な人々みんなので
支え合い、それぞれ
が自分らしく生きる
「地域共生社会」を
目指そう！

→認知症になっても、できることやりたいことができる仕組みが必要。

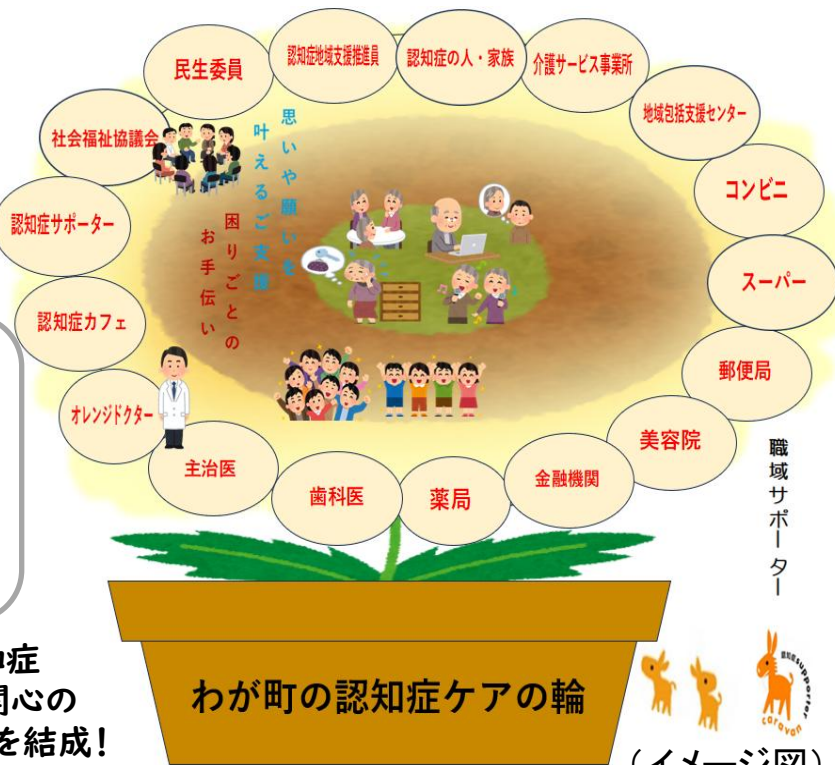
そこで今年度から、 井口台・井口地区では チームオレンジ づくりが始まっています！



チームオレンジとは？

認知症の方本人と共につくる、「認知症の方・家族の希望や悩み・身近な困りごとなど」と「地域の社会資源」をつなぐ、支え合いの仕組みのことです。

認知症サポーター養成講座修了者や認知症アドバイザーなど、認知症の方の支援に関心の高い方々からなるプロジェクトメンバー会を結成！
チームオレンジについて検討を重ねています。



(イメージ図)

「第1回 認知症ケアカフェ」開催！

日時：令和7年12月13日
場所：こころホスピタル草津
参加者：39名

チームオレンジの輪の部分にあたる、認知症の人やその家族を支援する全ての人々が一同に会し、語り合う会です。支援者同士が繋がり、絆を深めました。



広島市井口台・井口地域包括支援センター

☎501-6681 FAX:276-5541

西区井口2丁目5-19(広電宮島線の井口電停から山側すぐ!)

受付時間：8:30～17:15

定休日：土、日、祝、12/30～1/3

※職員が不在にすることがあります。
相談ご希望の方は事前に予約して頂けるとよりスムーズに対応ができます。



青色のひさしが
目印です!!

